

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成25年8月5日

**【四半期会計期間】** 第78期第1四半期(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

**【会社名】** 株式会社ツムラ

**【英訳名】** TSUMURA & CO.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 加藤 照和

**【本店の所在の場所】** 東京都港区赤坂二丁目17番11号

**【電話番号】** (03)6361 - 7121

**【事務連絡者氏名】** 経理部長 大河内 公一

**【最寄りの連絡場所】** 東京都港区赤坂二丁目17番11号

**【電話番号】** (03)6361 - 7121

**【事務連絡者氏名】** 経理部長 大河内 公一

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第77期 第1四半期 連結累計期間		第78期 第1四半期 連結累計期間		第77期	
	自 至	平成24年4月1日 平成24年6月30日	自 至	平成25年4月1日 平成25年6月30日	自 至	平成24年4月1日 平成25年3月31日
売上高 (百万円)		26,033		26,498		105,638
経常利益 (百万円)		6,066		5,918		24,310
四半期(当期)純利益 (百万円)		3,807		3,807		15,373
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)		4,088		3,981		20,555
純資産額 (百万円)		104,213		120,261		118,537
総資産額 (百万円)		153,275		173,238		170,466
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)		53.98		53.98		217.98
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)						
自己資本比率 (%)		67.04		68.42		68.63
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)		720		2,810		12,011
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)		1,049		1,343		8,022
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)		2,026		2,189		4,275
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)		10,482		13,329		13,762

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の  
有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日）の売上高は、前年同期に  
比べ1.8%増の264億9千8百万円となりました。

利益につきましては、営業利益53億7千万円（前年同期比11.2%減）、経常利益59億1千8百万円  
（前年同期比2.4%減）、四半期純利益38億7百万円（前年同期比0.0%増）となりました。売上原価  
率は、生産量増加による効率化が製造原価率改善に寄与したものの、原料生薬単価増等の影響により  
前年同期に比べ1.2ポイント上昇しました。また、販管費率は、販売関連費用の増加等により、1.8ポイ  
ント上昇しました。これらの結果として、営業利益率は20.3%（前年同期比2.9ポイント低下）とな  
りました。

医療用漢方製剤全体の売上高は、前年同期に比べ2.0%伸ばいたしました。

営業施策としては、医師への訪問・面談活動を強化し、各種の漢方医学セミナーや講演会・研究会、  
医療機関説明会等の積極的な開催を通じて、漢方医学および漢方製剤に関する情報提供の拡充を  
図っております。

また、育薬処方である「大建中湯」「六君子湯」「抑肝散」「牛車腎気丸」「半夏瀉心湯」につ  
きましては、多施設二重盲検群間比較試験による臨床研究とその効果を裏付ける薬物動態試験や基礎  
研究等が進み、有効性および安全性について質の高いエビデンスが確立されつつあります。各種学会  
や論文での研究成果の発表に加え、医薬情報担当者を通じた、エビデンスに基づくプロモーション活  
動を展開する中、各専門領域での漢方製剤に対する評価は着実に高まっております。

当社は今後とも、国内の患者様が、どの医療機関・診療科においても、必要に応じて“漢方”を取り  
入れた治療を受けられる医療現場の実現に貢献するとともに、新生産技術の導入等による「コスト  
構造改革」を進め、収益力の強化を図ってまいります。

## ( 2 ) 財政状態

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は以下のとおりであります。

総資産は、たな卸資産の増加及び設備投資による有形固定資産の増加等により前連結会計年度末に比べて27億7千1百万円増加し、1,732億3千8百万円となりました。

負債は、未払費用の増加等により前連結会計年度末に比べて10億4千7百万円増加し、529億7千7百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べて17億2千4百万円増加し、1,202億6千1百万円となり、自己資本比率は0.2ポイント低下して68.4%となりました。

## ( 3 ) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、28億1千万円の収入となりました。前年同期間との比較では、売上債権の減少及び仕入債務の増加等により35億3千万円増加しております。

投資活動によるキャッシュ・フローは、13億4千3百万円の支出となりました。前年同期間との比較では、有形固定資産の取得による支出が増加したこと等により2億9千4百万円支出が増加しております。

財務活動によるキャッシュ・フローは、21億8千9百万円の支出となりました。前年同期間との比較では、配当金の支払額が増加したこと等により1億6千2百万円支出が増加しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べて4億3千3百万円減少し、133億2千9百万円となりました。

## ( 4 ) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

## ( 5 ) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における当社グループ全体の研究開発活動の金額は、13億9千8百万円であります。

## ( 6 ) 主要な設備

前連結会計年度末に計画中であった静岡工場生薬倉庫棟の建設が完了し、平成25年5月より稼働しております。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	250,000,000
合計	250,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月5日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	70,771,662	70,771,662	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株であります。
合計	70,771,662	70,771,662		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年6月30日		70,771		19,487		1,940

(6) 【大株主の状況】

三井住友信託銀行(株)より平成25年5月21日付で提出された大量保有に関する変更報告書によれば、報告義務発生日である平成25年5月15日現在で2,670千株を所有している旨の報告を受けております。

なお、三井住友信託銀行(株)及びその共同保有者である三井住友トラスト・アセットマネジメント(株)、日興アセットマネジメント(株)の当第1四半期会計期間末現在での実質所有株式数については、当社として確認はできておりません。

大量保有に関する変更報告書の内容は、以下のとおりであります。

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
三井住友信託銀行(株)	東京都千代田区丸の内1-4-1	2,291	3.24
三井住友トラスト・アセットマネジメント(株)	東京都港区芝3-33-1	210	0.30
日興アセットマネジメント(株)	東京都港区赤坂9-7-1	168	0.24
合計		2,670	3.77

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 245,300		
完全議決権株式(その他)	普通株式 70,482,800	704,828	
単元未満株式	普通株式 43,562		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	70,771,662		
総株主の議決権		704,828	

(注) 1 「単元未満株式」欄には、当社所有の自己株式97株が含まれております。

2 「完全議決権株式(その他)」欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株(議決権の数10個)含まれております。

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ツムラ	東京都港区赤坂2 - 17 - 11	245,300		245,300	0.35
合計		245,300		245,300	0.35

(注) 株主名簿上は当社名義となっておりますが、実質的に所有していない株式が2,000株(議決権の数20個)あります。

なお、当該株式数は上記「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」の中に含まれております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第2項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。



## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,793	13,360
受取手形及び売掛金	37,199	37,240
商品及び製品	6,862	7,410
仕掛品	8,351	9,233
原材料及び貯蔵品	20,351	21,355
その他	7,973	8,515
貸倒引当金	3	3
流動資産合計	94,527	97,112
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	47,944	50,069
その他	59,855	59,938
減価償却累計額	57,142	58,440
有形固定資産合計	50,657	51,567
無形固定資産	235	225
投資その他の資産		
投資有価証券	21,361	20,496
その他	3,688	3,840
貸倒引当金	4	4
投資その他の資産合計	25,045	24,333
固定資産合計	75,939	76,126
資産合計	170,466	173,238
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,954	3,551
短期借入金	21,957	21,957
未払法人税等	4,222	2,669
返品調整引当金	9	6
その他	13,338	15,582
流動負債合計	42,480	43,766
固定負債		
退職給付引当金	2,055	1,931
その他	7,392	7,278
固定負債合計	9,448	9,210
負債合計	51,929	52,977

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	19,487	19,487
資本剰余金	1,940	1,940
利益剰余金	90,397	91,947
自己株式	385	386
株主資本合計	111,440	112,990
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,394	2,830
繰延ヘッジ損益	987	520
土地再評価差額金	1,984	1,984
為替換算調整勘定	812	204
その他の包括利益累計額合計	5,554	5,539
少数株主持分	1,542	1,732
純資産合計	118,537	120,261
負債純資産合計	170,466	173,238

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	26,033	26,498
売上原価	8,612	9,076
売上総利益	17,421	17,421
販売費及び一般管理費	11,375 <sub>1</sub>	12,051 <sub>1</sub>
営業利益	6,046	5,370
営業外収益		
受取利息	12	12
受取配当金	153	162
持分法による投資利益	-	0
為替差益	-	357
その他	60	76
営業外収益合計	225	609
営業外費用		
支払利息	52	54
持分法による投資損失	24	-
為替差損	124	-
その他	3	6
営業外費用合計	205	61
経常利益	6,066	5,918
特別利益		
固定資産売却益	-	0
特別利益合計	-	0
特別損失		
固定資産除却損	8	1
特別損失合計	8	1
税金等調整前四半期純利益	6,057	5,917
法人税等	2,217	2,081
少数株主損益調整前四半期純利益	3,840	3,835
少数株主利益	33	28
四半期純利益	3,807	3,807

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,840	3,835
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	221	564
繰延ヘッジ損益	345	467
為替換算調整勘定	795	1,143
持分法適用会社に対する持分相当額	19	34
その他の包括利益合計	248	145
四半期包括利益	4,088	3,981
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,948	3,792
少数株主に係る四半期包括利益	140	189

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	6,057	5,917
減価償却費	985	1,110
貸倒引当金の増減額（は減少）	0	0
受取利息及び受取配当金	165	175
支払利息	52	54
持分法による投資損益（は益）	24	0
有形固定資産除売却損益（は益）	6	4
売上債権の増減額（は増加）	1,240	19
たな卸資産の増減額（は増加）	1,907	1,685
仕入債務の増減額（は減少）	879	275
退職給付引当金の増減額（は減少）	8	124
その他	1,503	1,439
小計	4,446	6,798
利息及び配当金の受取額	180	167
利息の支払額	56	49
法人税等の支払額	5,291	4,105
営業活動によるキャッシュ・フロー	720	2,810
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	1,045	1,337
有形固定資産の売却による収入	0	1
無形固定資産の取得による支出	4	2
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	2	2
貸付けによる支出	1	4
貸付金の回収による収入	1	1
定期預金の預入による支出	9	12
定期預金の払戻による収入	12	12
その他	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,049	1,343
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	0	0
配当金の支払額	2,004	2,154
少数株主への配当金の支払額	14	26
その他	7	7
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,026	2,189
現金及び現金同等物に係る換算差額	372	289
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	3,424	433
現金及び現金同等物の期首残高	13,906	13,762
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,482	13,329

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日至平成25年6月30日)
原価差異の繰延処理	操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動負債(その他)として繰り延べております。

(四半期連結損益計算書関係)

- 1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日至平成25年6月30日)
給料諸手当	4,118百万円	4,266百万円
退職給付費用	302百万円	275百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年6月30日) (平成24年6月30日現在)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日至平成25年6月30日) (平成25年6月30日現在)
現金及び預金勘定	10,512百万円	13,360百万円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	30百万円	31百万円
現金及び現金同等物	10,482百万円	13,329百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	2,115	30.00	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

- 2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	2,256	32.00	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

- 2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

当社グループは医薬品事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

当社グループは医薬品事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	53円98銭	53円98銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	3,807	3,807
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	3,807	3,807
普通株式の期中平均株式数(千株)	70,526	70,526

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。



## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月5日

株式会社ツムラ  
取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	江口	潤	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	植村	文雄	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ツムラの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ツムラ及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。